

自治体の課題、現状

- ・地域移行の取組の進捗は、これまで学校管理下において工夫（合同部活動を設置）することで対応してきたところ。
- ・本市は、旧城山町、中山間地域である旧津久井町・旧相模湖町・旧藤野町と合併した経過があり、比較的都市部である旧市域とは、人口や土地の特性に差異があり、全市統一的な地域移行を目指すことが困難であると考えている。
- ・本市としての地域移行の方針が定まっていないため、審議会での検討及び方針の策定が急務となっているとともに、部活動を地域クラブ化した場合に生まれる課題の把握が必要であった。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	36校	全生徒数	16,187人
域内の部活動数	321部	実施した地域クラブ数	2クラブ（男女バスケ）
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	9人
主な運営団体	元・合同部活動		
主な種目	バスケットボール		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/2クラブ 2年：12人/2クラブ 1年：13人/2クラブ
参加会費	無し	主な活動場所	中沢中学校、中野中学校

地域移行関連の取組、成果

- 審議会の開催
 - ・本市の休日部活動の地域移行の方針について審議
 - ⇒答申書の完成は3月末に延期となったが、整備事業の中で8回の審議会を開催できた。本市の方針策定のための重要な土台作りができた。
- 地域クラブ運営の検証
 - ・元合同部活動に地域クラブ化してもらい、運営の課題抽出
 - ⇒クラブ運営に係る諸手続きについて把握することができた。ただし、諸手続きは非常に煩雑であるため、負担が少なくなるような環境整備が必要と分かった。

運営体制図

